

パブリックコメントの実施について（報告）

No.	ページ数	意見要旨	回答（市の考え）
1	56, 57, 63, 64 他	自殺対策には、学校、会社等以外に趣味でつながることができる居場所があるかどうかが大きく関連すると考える。居場所づくりの一環として、eスポーツを活用してはどうか。多くの人が集まり、共通の趣味や興味を持つ仲間を見つけることができ、多世代による交流やコミュニケーションの中で、同年代にはない視点からの意見をもらうこともでき、自殺予防の効果が大きくなる。また、家に居場所のない児童などが行きやすい公共施設となるのではないか。	社会的な孤独・孤立の状況は、誰かとつながりを持つことが重要であり、地域における居場所や交流の場づくりが求められているところです。今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、実現可能性や実施効果の検討や関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。
2	50	児童生徒のいじめについて、なぜいじめた側のケアが入っていないのか。	本計画では、施策体系の中に、生徒指導推進事業(第4章4(1)②保護者・学校関係者等への支援)を位置付けています。今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。
3	53	親の子育て力の向上に向けて、すべての保護者（男女ともに）が出産後、入院期間中に一定の子育てに関する講習を受けることを義務としてはどうか。	本計画では、施策体系の中に、産後ケア事業(第4章4(2)②妊産婦への支援)を位置付けています。今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。
4	48 他	学校教育について、多様性を受け入れる心の教育や将来働けるようにしっかりと教育を受けるということが重要。一斉授業では、内容に付いていけず脱落する子どもが出てしまうため、一人ひとりが学びたいことを学びたい場所で自分のペースで学ぶ方法を模索してもよいのでは。そのような柔軟な学びの場が、多様性を尊重し、自分の個性を伸ばし、学ぶ意欲へとつながり、社会へいきいきと出ていく。それが自殺者を減らすことにもつながる。	子どもや若者に対する自殺対策は、現在における自殺予防のみでなく、将来の自殺リスクを低減させることにもつながると考えており、本計画の基本施策の一つに、子ども・若者を取り巻く環境の整備を掲げています。今後、本計画に基づき取り組みを進めるにあたり、学校教育関係部署との情報共有等を行う際の参考とさせていただきます。